

	<p>串木野中学校教頭通信</p> <h1>Kyo to correspondence</h1> <p>～当たり前のことを当たり前～</p>	<p>第39号 令和6年 1月25日(木)</p> <p>いちき串木野市立串木野中学校教頭 文責 長岡</p>
---	--	---

当たり前のことを当たり前にする

教頭通信1号で「当たり前のことを当たり前にする」「当たり前基準」を紹介しました(覚えていますか?)。この「当たり前基準」ですが、実は影響を受け、参考にしている本(人物)があります。遠藤友彦(エントモ)さんの「日本を救う!『当たり前基準』です。エントモさんは、毎年、鹿児島県の中学校軟式野球部の指導にも来て下さいます。その中の「当たり前基準」です。これってできて当たり前!みなさんはきちりできていますか?

『当たり前基準』十ヶ条

「一、自分から挨拶していますか?」

→ 自分から笑顔で、大きな声で、元気良くする挨拶。挨拶もするだけでは意味がない。相手を感じさせるような挨拶をする。

「一、「ありがとう」って言えますか?」

→ 感謝の気持ち。一番力のある言葉です。

「一、素直に「ごめんなさい」って言えますか?」

→ 素直な気持ちで認める(受け入れる)ということが大事です。失敗は成功のもと。

「一、時間を守れますか?」

→ 時は金なり!常に守ってこそ、真の信用が得られる。人生の時間は有限、時間を計画的に有効に使いましょう。

「一、人の話を聞けますか?」

→ 聞くというのは簡単なようで難しい。聞く姿勢が大事です。聞き上手こそ成功への近道であります。

「一、人を褒めてあげられますか?」

→ 人間は褒められたい欲求があるのに、褒め上手な人は意外と少ない。凄い成果=自分が持っている実力×やる気(褒める事によってアップ)

「一、思いやりをもって人と接していますか?」

→ 自分さえ、儲かればいい?

「一、目の前のゴミを拾えますか?」

→ 目の前のゴミに気付く事が大事!小さな一步の積み重ねが大きな成果を出す。一番苦勞をしたものが一番得をする。

「一、整理整頓できていますか?」

→ 心の状態と整理整頓は比例する。

「一、あなたは夢を持っていますか?」

→ 自分を奮い立たせるのが夢!何か目指すものがある人、したいことややりたいことがある人、行き着きたいことがある。

人は毎日の表情が違います。夢や目標がある人は、毎日が充実して「ワクワク・ドキドキ」して輝いています。できない理由を考えるより、どうすればできるかを考えるプラス脳が大切になります。

夢なき者に理想なし
理想なき者に計画なし
計画なき者に実行なし
実行なき者に成功なし
故に
夢なき者に成功なし

吉田松陰

